

「スパイラル」と Web アクセス解析

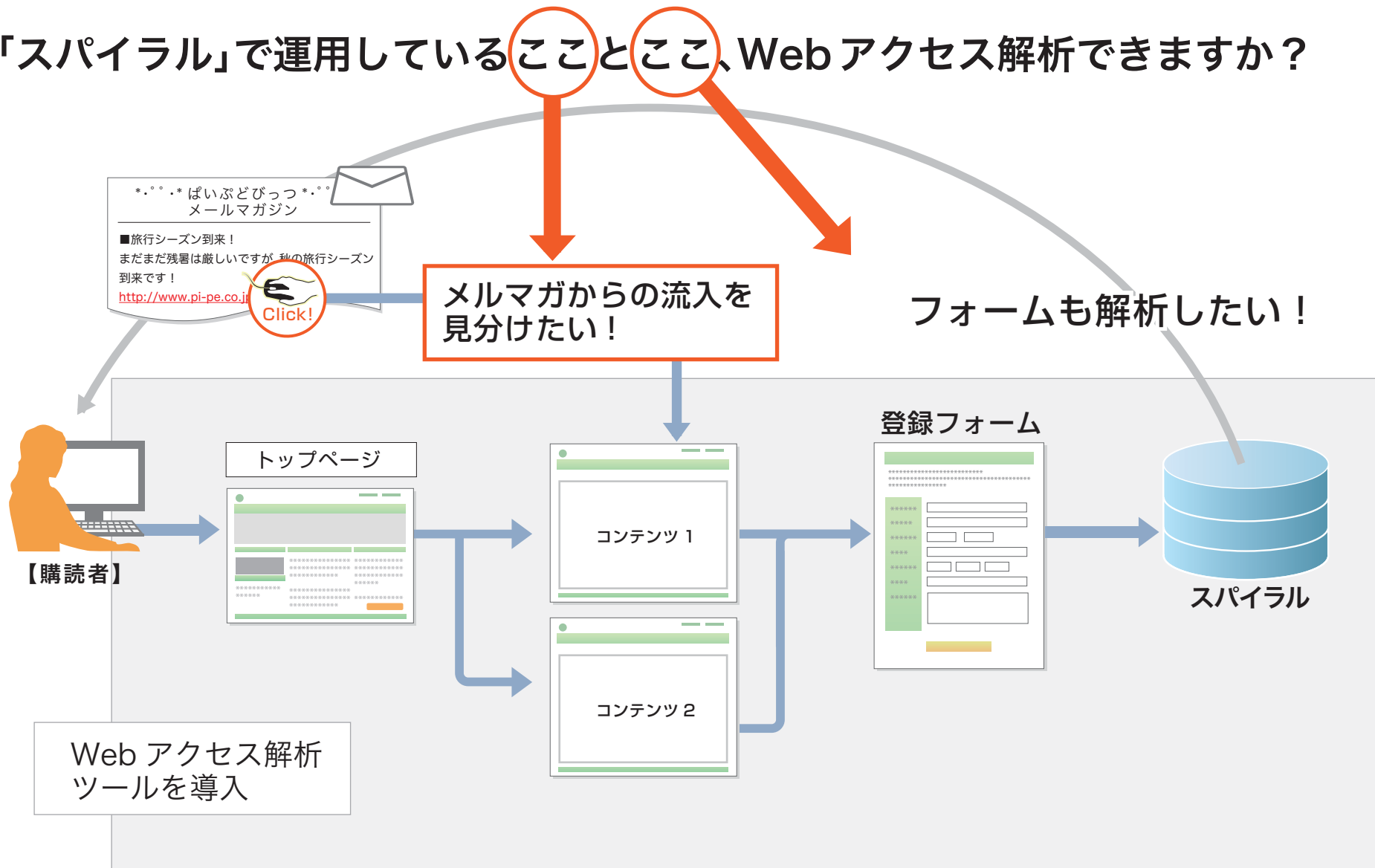
「スパイラル」サポート情報

2021年2月版

株式会社パイプドビット

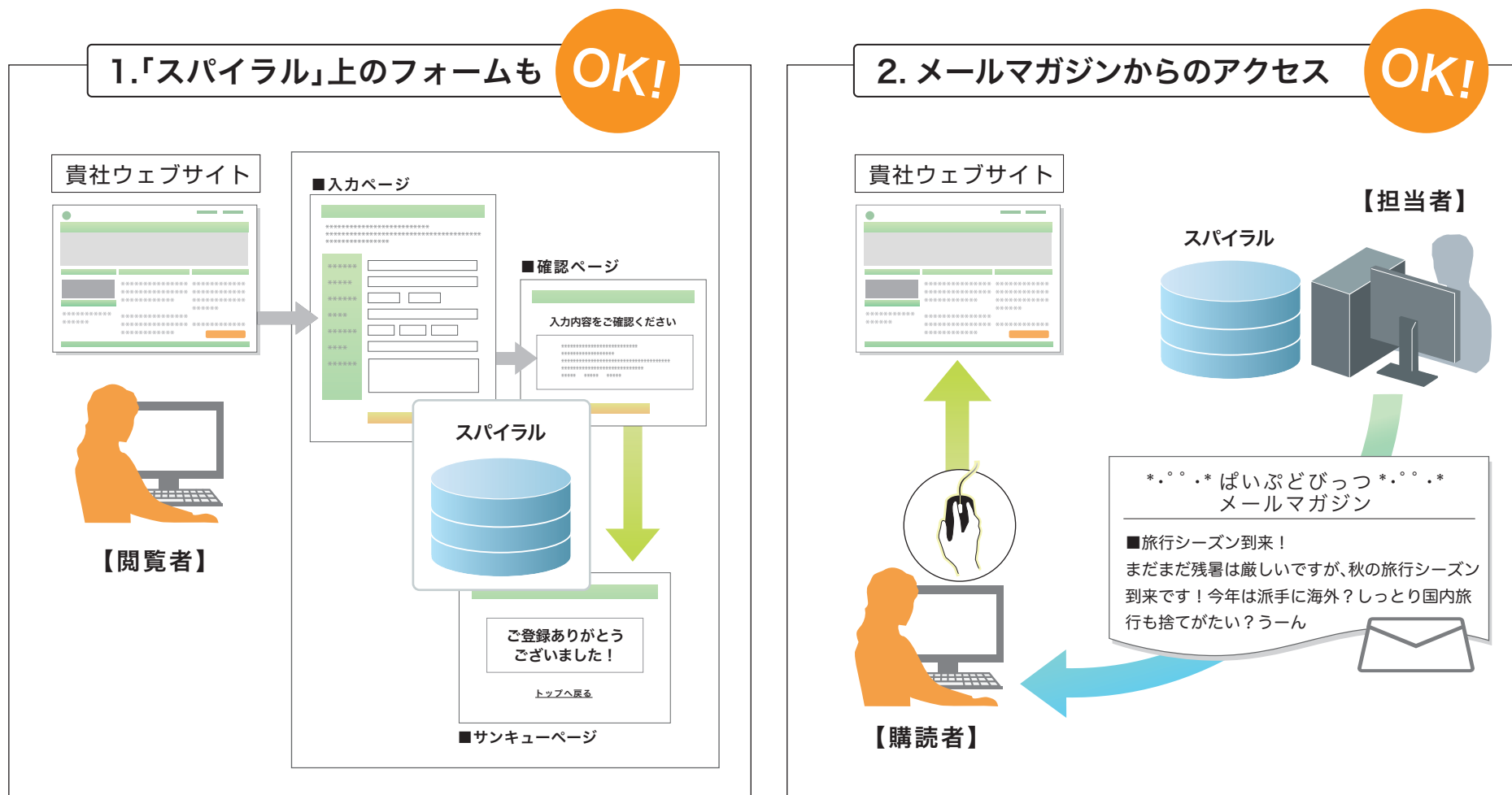
「スパイラル」を Web アクセス解析

「スパイラル」で運用している **ここ** と **ここ**、Web アクセス解析できますか？



「スパイラル」は Web アクセス解析ツール導入対応です！

メールマガジンに記載した URL からのアクセスも、「スパイラル」上に設置したフォームでの遷移も解析できます。

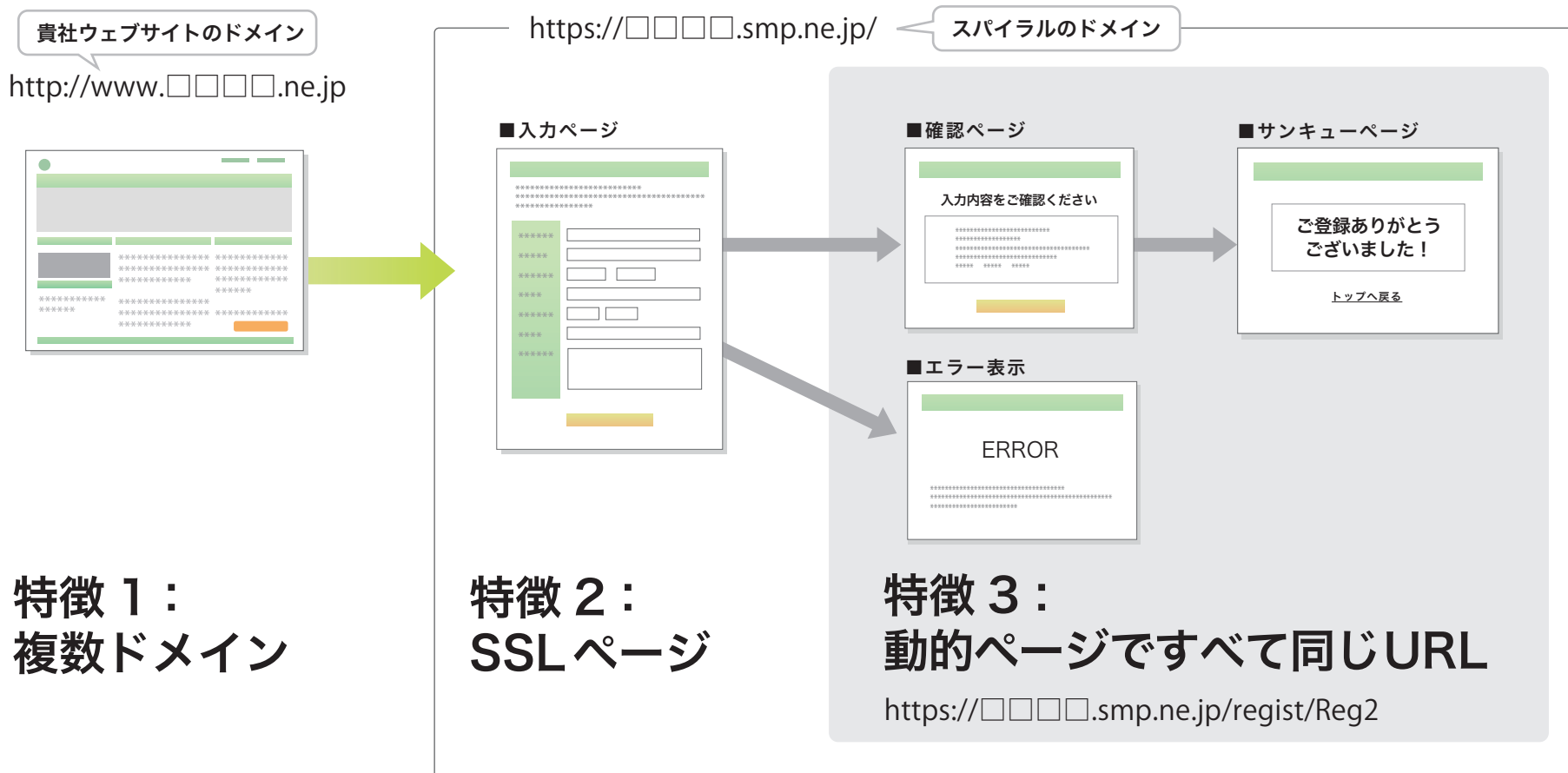


「スパイラル」を解析できるWebアクセス解析ツールは？

一般的な Web アクセス解析ツールなら、解析可能※。

「スパイラル」はセキュリティを重視し、SSL（暗号化）通信対応ページ、動的ページを採用しています。複数ドメイン・SSL ページ・動的ページに対応した Web アクセス解析ツールをご利用ください。

※ 必ずしも、データ・解析結果を保証するものではありません。



※ 入力ページ、サンキューページは貴社ウェブサイト上に設置していただくことも可能。

☰ 「スパイラル」で作成したフォームを解析したい：設定情報

「スパイラル」に Web アクセス解析ツールを導入するには？

HTML ソースの直接編集ができる「スパイラル」だから、Web サイトへの解析ツール導入と基本的に変わりません。

- 【 Web ビーコン型 】** 入力ページ、確認ページ、エラー表次ページ、サンキューページそれぞれにおいて、各ツールで指定されている箇所(</body> の直前 など)へ解析用コードを挿入してください。
- 【 パケットキャプチャ型 】** ツール設定のほか、ツールによっては解析用コードの挿入が必要です。

主な解析ツール

| ツール名 | タイプ | 設定等 |
|------------------|-----------|--|
| ログエビス | Web ビーコン | 特に設定は必要なし。 |
| RT metrics | パケットキャプチャ | 解析用サーバの設置と JavaScript の設定が必要。 |
| SiteCatalyst | Web ビーコン | 特に設定はなし。 |
| Visionalist | Web ビーコン | 動的ページ設定サービスあり。同一 URL (確認ページ、エラー表示ページ、サンキューページ) の解析には個別 ID を付与。 |
| Google Analytics | Web ビーコン | JavaScript の設定が必要。※Google Analytics 公開のヘルプページより当社調べ |

以下のツール提供会社様に、「スパイラル」でのアクセス解析方法調査(2010年実施)にご協力いただきました。

「スパイラル」で作成したフォームは、複数ドメイン、動的ページ、SSL に対応したツールであれば、基本的アクセス解析を行えますが、必ずしも、**データ、解析結果を保証するものではありません。**

- 【 ログエビス 株式会社ロックオン様 】**
【 Visionalist 株式会社デジタルフォレスト様 】
【 RTmetrics オーリック・システムズ株式会社様 】
【 SiteCatalyst 株式会社オムニチュア様 】

🔗 主なツールでの設定情報 その1

同じ URL で表示されるページを見分ける (動的ページの解析)

確認ページ、サンキューページ、エラー表示ページは、同じ URL で表示されます※。
これらを見分けるためには、JavaScript の記述中に個別の ID を割り振るなどの設定が必要になります。

※サンキューページは、貴社サーバーへ設置することも可能です。

○主な解析ツールでの設定方法

ログエビス

タイプ : Webビーコン型
提供 : 株式会社ロックオン

※ 2010 年時点の情報です。
詳細な設定方法、最新情報は、ベンダーにご確認ください。

通常の Web サイトを解析する際に、各ページへ個別の解析コードを挿入します。動的ページについても同様の方法で解析することができます。

RTmetrics

タイプ : パケットキャプチャ型
提供 : オーリック・システムズ株式会社

※ 2010 年時点の情報です。
詳細な設定方法、最新情報は、ベンダーにご確認ください。

「スパイラル」上に設置したページ全てに同一の解析用タグを設置することで、解析が可能になります。動的ページ用に特別な設定等は必要ありません。タグは、会社様ごとに異なったものになります。

Visionalist

タイプ : Webビーコン型
提供 : 株式会社デジタルフォレスト

※ 2010 年時点の情報です。
詳細な設定方法、最新情報は、ベンダーにご確認ください。

同一の URL で表示されるページが何であるか見分けるため、各ページに ID を割り振ります。
各ページに ID を振り分けていただければ、有償の「動的ページ計測設定サービス」はご利用をいただくまでも計測が可能です。

例) ・確認ページ → 1
・サンキューページ → 2
・エラー表示ページ → 3

ID が設定された Visionalist タグを各ページの指定場所へ挿入することで、URL が同一でもページを見分けることが可能になります。

🔗 主なツールでの設定情報 その 2-1

Google Analytics

タイプ : Webビーコン型
提供 : 株式会社 Google

※ Google Analytics については、弊社が調査した情報になります。最新の情報および詳細は、Google Analytics のヘルプセンターをご利用ください。

動的ページが表示された時に任意の URL を記録させることで、同一の URL でも別ページとして見分けることができます。

例: 任意の URL を仮定

確認ページ → http://www.■■■.co.jp/contact/confirm.html
サンキューページ → http://www.■■■.co.jp/contact/thankyou.html
エラー表示ページ → http://www.■■■.co.jp/contact/error.html

この任意の URL を記録させるには、解析コードに「pageview」の記述を追加します。

例: <head>

```
<script>
(function(i,s,o,g,r,a,m){i['GoogleAnalyticsObject']=r;i[r]=i[r]||function(){
(i[r].q=i[r].q||[]).push(arguments)},i[r].l=1*new Date();a=s.createElement(o),
m=s.getElementsByTagName(o)[0];a.async=1;a.src=g;m.parentNode.insertBefore(a,m)
})(window,document,'script','//www.google-analytics.com/analytics.js','ga');

ga('create', 'UA-*****-*', 'auto');
ga('send', 'pageview', {
  'page' : '/contact/confirm.html',
  'title' : 'お問い合わせ(確認)'
});
</script>
</head>
<body>(以下略)
```

解析用コードは <head> と </head> の間の任意の場所に記述します。

この部分を追加します。
赤字部分は、page に任意の URL、title に分かりやすい名称を記述します。

このページが表示されると、「contact」というディレクトリの「confirm.html」が表示されたものとして記録されます。

※解析コードはアップデートされ、javascript のコードが変更される場合があります。設定の詳細や最新情報は、Google Analytics のヘルプセンターをご利用ください。

🔗 主なツールでの設定情報 その 2-2

さらに、Google Analytics において、貴社 Web サイトとスパイラルで発行した Web フォームを 1 つのプロファイルで確認したい場合、ドメイン間でクッキー情報を引き継ぐ記述を解析コード追加します。

例： 貴社 Web サイトのドメイン → ABC.co.jp
 SPIRAL で発行したフォームのドメイン → regist*.smp.ne.jp

```
<head>
```

```
⋮
```

```
<script>
```

```
(function(i,s,o,g,r,a,m){i['GoogleAnalyticsObject']=r;i[r]=i[r]||function(){
(i[r].q=i[r].q||[]).push(arguments)},i[r].l=1*new Date();a=s.createElement(o),
m=s.getElementsByTagName(o)[0];a.async=1;a.src=g;m.parentNode.insertBefore(a,m)
})(window,document,'script','//www.google-analytics.com/analytics.js','ga');
```

```
ga('create', 'UA-*****-*', 'auto', {'allowLinker':true});
```

```
ga('require', 'linker');
```

```
ga('linker:autoLink', ['regist*.smp.ne.jp'] );
```

```
ga('send', 'pageview', {
'page' : '/contact/entry.html',
'title' : ' お問い合わせ(エントリー) '
});
```

```
</script>
```

```
</head>
```

```
<body>(以下略)
```

この部分を変更・追加します。

← 赤字部分は、解析コードを設置する場所に合わせて編集します。

- ・ 貴社 Web サイトに挿入する解析コード
 スパイラルで発行した Web フォームのドメイン
- ・ スパイラルで発行した Web フォームに挿入する解析コード
 貴社 Web サイトのドメイン

※プロファイルにて、各ドメインを参照元として表示したくない場合は、Google Analytics の「アナリティクス設定」から「参照元除外リスト」を編集してください。

🔗 メールマガジンからのアクセスを解析するには？

パラメータを付与したURLをメールマガジンに記載。
「メールマガジン」から来た閲覧者を見分けることができます。

URLにパラメータを付与することで、メール文面中のURLからウェブサイトへ訪れた閲覧者であることを見分けられます。

【パラメータ付きURL例】

`http://www.pi-pe.co.jp/index.html?source=mail&cmp=200808`

パラメータ

- 「パラメータ名」=「値」の書式で、これらは任意に設定可能
- 「?」で始まり、複数になる場合は「&」でつなぐ

≫ アクセス解析ツール 「このパラメータ付きのアクセスはメールマガジン」と自動で判断させる設定を行うと、より簡単に解析結果を確認できます。

※ ツールによっては、作成するパラメータにルールがある場合やアクセス解析ツールでの設定方法・表示内容が異なる場合がございますので、お使いのツールの設定資料をご確認いただくか、サポートへお問い合わせ願います。

❗ 「誰がアクセスしたのか」を知りたい

「スパイラル」の基本機能「差替えキーワード」を使うことで可能になります。

差替えキーワードとは、「スパイラル」のデータベースに登録されている情報をメール文面やフォームに呼び出す機能。

「スパイラル」では、登録情報それぞれに固有のIDを自動で付与しています。このIDを差替えキーワードでパラメータに組み込むと、購読者の誰がメールマガジン中のURLをクリックしてWebサイトを訪れたかが分かります。

パラメータの値に差替えキーワードで「システムID」を指定します。

↓ `http://www.pi-pe.co.jp/index.html?cid=%val:sys:id%`

実際に配信されるときは、自動で実際のIDに差し替わります。

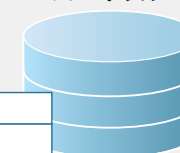
`http://www.pi-pe.co.jp/index.html?cid=001`

`http://www.pi-pe.co.jp/index.html?cid=003`

| | |
|---------|------------------|
| ID | 001 |
| 氏名 | 田中 太郎 |
| メールアドレス | taro@pi-pe.co.jp |

| | |
|---------|--------------------|
| ID | 003 |
| 氏名 | 佐藤 はなこ |
| メールアドレス | hanako@pi-pe.co.jp |

スパイラル



- ・「スパイラル」で発行したフォームのHTML編集方法
- ・メールマガジン文面への差替えキーワードの設置方法

ご質問がございましたら **スパイラル ユーザーズデスク** よりお気軽にお呼び出してください。

専門スタッフより、すぐに折り返しご連絡差し上げます。

スパイラルにログインし、操作画面最上部の[ユーザーズデスク] ボタンをクリックしてください。ポップアップで「ユーザーズデスクご連絡フォーム」が開きます。



ユーザーズデスク受付時間 **10:00 ~ 18:00**
(土日祝祭日、年末年始休業を除く)

ユーザーズデスクについて <https://www.pi-pe.co.jp/spiral-series/spiral-suite/support/>